



無関係な関係、適切な距離 ■ ■ 空白の定義 ■ ■ 中澤有基 Nakazawa Yuki

2017年5月11日[木] — 5月28日[日] 月曜休廊 / 午前11時 — 午後7時 金曜日は午後8時まで

アーティスト・トーク 5月13日[土] 午後5時～

ギャラリー・パルク前回展の作家である写真家・麥生田兵吾を聞き手に、中澤有基が自作や本展覧会についてトークします。

※麥生田兵吾展では中澤有基を聞き手にアーティスト・トークを開催。

デジタルカメラで写真を撮った時に、露出過多になった部分が真っ白になってしまう事がある。抜け落ちた白は別世界へ繋がっている何かに見える。デジタル写真において世界は数値化されたデータで表され、モニターでは光(RGB)となり、インクジェットプリントでは色(CMYK)になる。過剰な露出を与えられ光に蒸発した風景は、インクジェットプリントではインクの乗らないただの紙となる。それはいったい、写真なのだろうか、紙なのだろうか。本展では光(過去の現実)と紙(今)と白が地続きになり、見る者に新たな知覚を問いかける。■ ■ ■ ■ ■ — 中澤有基

When I took a picture by digital camera, the part over exposed became pure white. It looks like the entrance to another world. In digital photography, the world is expressed in numerical data, becomes light (RGB) on the monitor and color (CMYK) in inkjet printing. In inkjet printing, a certain scenery that evaporated into light by given excessive exposure is just paper without ink. In this exhibition, the photograph will be connected with light, white, paper. It will be a query about perception. ■ ■ ■ ■ ■ — Nakazawa Yuki

KG+

Gallery P A R C
GRAND MARBLE

無関係な関係、適切な距離 空白の定義

中澤有基 Nakazawa Yuki

2017年5月11日[木] — 5月28日[日] 月曜休廊 / 午前11時 — 午後7時 金曜日は午後8時まで

アーティスト・トーク(聞き手:写真家・麥生田兵吾) / 5月13日[土] 午後5時～

KG+ ※本展は[KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2017]のサテライトイベント「KG+2017 スペシャルエキシビション」にエントリーしています。



【広報画像01】 本展DM使用画像《MASK BLANK》© Yuki Nakazawa

Gallery PARC[グランマール ギャラリー・パルク]では、2017年5月11日[木]から5月28日[日]まで、写真家・中澤有基による個展「無関係な関係、適切な距離 空白の定義」を開催いたします。

中澤有基(なかざわ・ゆうき/1980年生まれ)は、写真家として活躍する傍、写真ギャラリー「gallery Main」(京都)の運営のほか、「京都写真教室Tract」の運営、写真集出版レーベル「CITYRATpress」のメンバー、多くの写真展の企画・運営など、「写真」に多角的・積極的に関わっています。

中澤は写真の中に「何か」と「何か」が認識された時、そこに「関係性」が生じ、世界が現れること、また、それらの位置や距離という視覚的な要素が認識される関係に変容をもたらすことへの興味に端を発した作品制作に取り組みます。本展は、この“視覚”と“認識”への問いかけの一端として、写真における「白」を主眼に据えた作品によって構成されます。

20世紀半ばに登場し、90年代末には一般的なものとなったインクジェットプリントは、支持体となる紙にCMYKのインクを載せる(あるいは浸透させる)形式による印刷技術です。では、白を支持体(紙)の色に依存するインクジェットプリントにおいて、私たちが知覚する「白」とは、対象から写し取られた実際の「白い色」であり、対象に差した「光」であり、また「紙の色」そのものでもあります。つまり、インクジェットプリントにおける白は、その存在を明確に規定できないものであると言えますが、それでも私たちはその白を、「紙」と「白」と「光」とに判別して認識しています。これは、写真上の風景や事物を記憶や経験、その他の色(イメージ)との関係から想定することで認識しているといえます。

中澤は本展において、露出を極端に上げた、まったく無関係なイメージを配置・構成します。これにより無関係なイメージは、画面内の様々な白を「地続き」として、鑑賞者の中に新たな関係性が生じ、様々な認識が立ち上がることを目論みます。

本展において、現在の写真というメディアの物質性にまで立ち返って発するシンプルな揺さぶりが、見るという行為に内在する無自覚な“視覚”と“認識”への問いかけとなれば幸いです。

※なお、会期中の5月13日[土] 午後5時より、聞き手に写真家・麥生田兵吾(ギャラリー・パルク前回展の出品作家)を迎え、中澤有基が自作や本展について語るアーティスト・トークを開催します。

※本展は[KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2017]のサテライトイベント「KG+2017 スペシャルエキシビション」にエントリーしています。

無関係な関係、適切な距離 空白の定義

中澤有基 Nakazawa Yuki

2017年5月11日[木] — 5月28日[日] 月曜休廊 / 午前11時 — 午後7時 金曜日は午後8時まで

アーティスト・トーク(聞き手:写真家・麥生田兵吾) / 5月13日[土] 午後5時～

KG+ ※本展は[KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2017]のサテライトイベント「KG+2017 スペシャルエキシビション」にエントリーしています。



【広報画像02】 本展DM使用画像《MASK BLANK》©YukiNakazawa

本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上【info@galleryparc.com】迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 **無関係な関係、適切な距離 空白の定義 中澤有基 展**

出展作家 **中澤有基** <http://nakazawayuki.jp>

会期 **2017年5月11日[木] — 5月28日[日] 11:00～19:00 月曜日休廊 / 金曜日のみ20:00まで**

イベント **アーティスト・トーク(聞き手:写真家・麥生田兵吾) 5月13日[土]17:00～・参加無料・予約不要**
ギャラリー・パルクの前回展の作家である写真家・麥生田兵吾を聞き手に、中澤有基が自作や本展覧会についてトークします。
※前回・麥生田兵吾展(4/21～5/7)では中澤有基を聞き手にアーティスト・トークを開催しました。

料金 **無料**

内容 **【写真】写真家・中澤有基による個展。写真における「白」を手がかりに、見る者の“視覚”と“認識”を問いかける。写真およそ30点を展示予定。**
※本展は京都市内を舞台に同時期に開催されている[KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2017]のサテライトイベント「KG+2017 スペシャルエキシビション」にエントリーしています。

会場 Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク]〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル

アクセス 阪急河原町駅・三条京阪駅より徒歩10分、地下鉄東西線京都市役所前駅より徒歩3分。三条通・御幸町通の交差点北西角[グランマーブル]店舗内2階

問い合わせ Gallery PARC (正木・武本・村田) 〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル [グランマーブル]2F
【Tel&Fax】075-231-0706 【Mail】info@galleryparc.com

無関係な関係、適切な距離 空白の定義

中澤有基 Nakazawa Yuki

2017年5月11日[木] — 5月28日[日] 月曜休廊 / 午前11時 — 午後7時 金曜日は午後8時まで

アーティスト・トーク(聞き手:写真家・妻生田兵吾) / 5月13日[土] 午後5時～

KG+ ※本展は[KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2017]のサテライトイベント「KG+2017 スペシャルエキシビション」にエントリーしています。

中澤 有基 | Nakazawa Yuki

<http://nakazawayuki.jp>

1980年生まれ、京都市在住。2002年ビジュアルアーツ大阪卒。galleryMainを主宰するなどギャラリストとして活動しながら写真作品を発表。主な展示に『震える森、焦点の距離』(2013/gallery 9 kyoto)、『無関係な関係、適切な距離』(2016/galleryMain)など。アートフェア『FOTOFEVER ARTFAIR PARIS』(Carousel du Louvre)に2014年2015年に連続して出展。外部での写真企画やディレクションなども積極的に行う。

【主な展示】

2010 個展「臨界」(galleryMain)

2011 個展「流レ」(galleryMain)

2012 天津優貴 × 中澤有基 写真と映像展『バイバイ、ママ』GALLERY 9 kyoto

2012 KyotoCurrent展(京都市美術館別館)

2013 個展「震える森、焦点の距離」(GALLERY 9 kyoto)

2013 個展「SAKURA010」(galleryMain / KG+2013)

2014 CITY RAT press × 81Lab magazine 合同写真展 出展(心斎橋アセスギャラリー)

2014 FOTOFEVER ARTFAIR PARIS 2014 出展 (Carousel du Louvre / パリ)

2015 FOTOFEVER ARTFAIR PARIS 2015 出展 (Carousel du Louvre / パリ)

2016 個展『無関係な関係、適切な距離』(galleryMain)

2016 個展『海にも太陽がある、遠くを見る』(MARUTE GALLERY / 高松)

